

令和元年度事業

教育委員会の事務に関する
点検評価報告書

男鹿市教育委員会

《 目 次 》

1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の方法	1
3	学識経験者の知見の活用	2
4	教育委員会会議の開催状況	2
5	教育委員会会議の審議状況	2
6	教育委員会会議以外の活動状況	3
7	令和元年度重点事業の点検・評価	5
I 【教育環境の整備】		
(1)	コミュニティ・スクール推進事業	5
(2)	小中学校学習環境整備事業	6
(3)	小学校 I C T環境整備事業	7
(4)	小中学校の在り方を考える協議会	8
II 【地域間交流の機会充実と推進】		
(1)	男鹿・春日井市児童交流学習事業	9
III 【生涯学習の推進】		
(1)	明日を創る新成人の集い	10
(2)	子ども家庭地域連携事業	11

1 点検・評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正(平成20年4月1日施行)され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が、男鹿市総合計画に基づく重点事業の取り組み状況について点検、評価を行い、課題の方向性を明らかにすることにより、教育行政の一層の推進と市民への説明責任を果たしていくために、令和元年度に執行した事業について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに市民の皆様公表するものです。

2 点検・評価の方法

本市教育委員会は、毎年度、教育目標を掲げ、その目標の実現に向けた重点事業を実施しており、これらの事業を対象に教育委員会自らが事務の執行状況について、点検・評価を実施したものです。

なお、令和2年度の点検・評価は、令和元年度事業を対象に実施しました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

男鹿市教育長・教育委員名簿 (令和元年度在籍)

職名	氏名	備考
教育長	栗森 貢	
委員 (~5/10)	目黒 恵子	教育長職務代理者
委員	安田 一彦	教育長職務代理者 (5/11~)
委員	吉田 貴美子	
委員	小玉 亜紀子	
委員 (5/11~)	三浦 良忠	

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められておりますので、本市教育委員会では、教育に関し学識経験を有する次の方から、意見をいただきました。

○ 浅井 繁樹 氏

4 教育委員会会議の開催状況

開催日	会議	場所
R 1. 5. 17	第1回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 1. 8. 20	第2回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 1. 10. 8	第3回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 1. 11. 13	第4回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 2. 2. 12	第1回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 2. 3. 19	第2回教育委員会会議	市役所3階第1会議室

5 教育委員会会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「男鹿市教育委員会事務委任規則」第2条の規定に基づき、令和元年度は議案17件の審議と、報告事項等20件、合計で37件を取り扱いました。

(1) 議会の議決を経る議案に関する意見の申し出に関すること。 9件

- 令和元年度教育費 9月補正予算 12月補正予算 3月補正予算
- 令和2年度教育費 当初予算
- 条例
 - ・男鹿市公民館使用条例等の一部改正について
 - ・男鹿市立幼稚園条例の一部改正について
 - ・男鹿市招致外国青年の給料及び旅費に関する条例の一部改正について
 - ・男鹿市立学校給食共同調理場等設置条例の一部改正について
 - ・男鹿市公民館条例及び男鹿市公民館使用条例の一部改正について

(2) 教育委員会規則の制定及び改廃及び一部改正に関すること。 4件

- 男鹿市立幼稚園管理規則の一部改正について
- 男鹿市小中学校管理規則の一部改正について
- 男鹿市教育委員会組織機構改革に伴う教育委員会規則の整理について
- 男鹿市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について

- (3) 教育施策の基本方針の決定に関すること。 2件
- 令和2年度学校教育の基本方針（案）及び重点目標と努力事項（案）について
 - 令和2年度生涯学習の重点目標と施策の方向（案）について

- (4) 教職員、事務局職員等の人事に関すること。 2件
- 令和2年度秋田県教職員人事異動について
 - 令和2年度職員の人事異動について

- (5) 報 告 事 項 等 20件
- 教育長職務代理者の指名について
 - 令和2年度使用教科書の選定について
 - 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について
 - 小中学校の在り方を考える協議会について（4回）
 - 男鹿市小・中学校のいじめの認知状況について（2回）
 - 明日を創る新成人の集い（男鹿市成人式）について
 - 平成30年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について（2回）
 - 教育委員会事務局組織機構改革（案）について
 - 会計年度任用職員制度について
 - 教育委員の選任について
 - 市議会定例会での一般質問等（教育委員会関係）について（4回）
 - 新型コロナウイルス感染症の対応状況について

6 教育委員会会議以外の活動状況

① 総合教育会議

- ・令和元年12月18日 市役所3階第1会議室
- ・(1) 教育の振興に関する施策の大綱に関する意見交換
- (2) 次期「男鹿市総合戦略」（素案）について

② 入学式（入園式）

月	日	学 校 名
H31.	4. 5	船川第一小学校、脇本第一小学校、船越小学校、北陽小学校 払戸小学校、美里小学校 男鹿南中学校、男鹿北中学校、男鹿東中学校、潟西中学校
H31.	4. 9	若美幼稚園

③ 卒業式（卒園式）

* コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、出席見合わせ

月	日	学 校 名
(R 2. 3. 7)		(男鹿南中学校、男鹿北中学校、男鹿東中学校、潟西中学校)
(R 2. 3. 12)		(若美幼稚園)
(R 2. 3. 17)		(船川第一小学校、脇本第一小学校、船越小学校、北陽小学校 払戸小学校、美里小学校)

④ 学校訪問

月	日	学 校 名
R 1. 5. 30		船越小学校
R 1. 6. 7		船川第一小学校、男鹿南中学校
R 1. 7. 3		男鹿東中学校
R 1. 7. 12		美里小学校、潟西中学校
R 1. 7. 17		払戸小学校、脇本第一小学校
R 1. 7. 18		北陽小学校、男鹿北中学校

⑤ 学校行事等

小中学校運動会、小学校生活発表会、中学校文化祭、成人式等への出席

⑥ 会議等

全縣市町村教育委員会教育長会議

秋田縣市町村教育委員会連合会及び秋田県郡市教育長協議会合同研修会

7. 令和元年度重点事業の点検・評価

I 【教育環境の整備】

(1) コミュニティ・スクール推進事業

方針・目標	市内小・中学校に「学校運営協議会」を設置し、学校・地域・家庭が一体となって学校をサポートする取組を推進し、地域に開かれた学校づくりを支援する。
目標値	<p>コミュニティ・スクールに関するアンケートを実施。次の設問についての4段階評価で目標値を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの成果について（3. 2） ・コミュニティ・スクールが地域住民に周知できている（2. 5）
事務事業の実績	<p>平成28年4月に市内全小・中学校を一斉にコミュニティ・スクールに指定した。各校においては、10～13名で構成される「学校運営協議会」を設置し、年4～5回実施した。</p> <p>各校では、地域と合同での避難訓練や防災教室の開催、野菜の栽培活動、施設等への訪問活動、奉仕活動、伝統文化学習など多様な実践が見られた。</p> <p>学校運営協議会会長と副会長、校長と教頭を対象にしたCS情報交換会を9月に開催し、他校の実践に触れ、課題等について話し合う機会とした。</p> <p>○事業費決算 1,423,190円</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>（説明）</p> <p>○アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの成果について（3. 3） ・コミュニティ・スクールが地域住民に周知できている（2. 7）
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>（具体的な課題及び取組）</p> <p>令和元年度は学校運営協議会設置が努力義務となった1年目であった。これまでの実績を踏まえ各校の取組が進められたが、今後も、保護者及び地域住民への周知を進め、取組を拡充していく必要がある。</p>
教育委員評価	市内全小中学校の一斉スタートから4年目となり、各学校においては、地域の人材等を活用した各種事業を展開するなど、地域と共にある学校づくりに繋がる多様な実践に取り組んでいる。これからも、地域住民への一層の周知を図るとともに、学校と地域が一体となって事業を進め、取り組みを継続していただきたい。
学識経験者意見	本事業は4年目を迎えて各校ごとに特色ある活動が行われている。地域の教育力の低下が叫ばれる中、学校運営委員会の機能を十分に活かし、地域の方々や保護者と連携・協働して学校運営を活性化し、地域人材の活用や情報発信等で開かれた学校づくりを推進していただきたい。

I 【教育環境の整備】

(2) 小中学校学習環境整備事業

方針・目標	安全安心な学校環境整備を推進するため、各工事を実施し、適切な教育環境の実現を図る。
目標値	令和元年度は男鹿南中学校屋上防水改修工事と東部共同調理場の空調設備設置工事を行う。
事務事業の実績	<p>◎男鹿南中学校食堂棟ほか屋上防水改修工事 H31. 4. 26 着工～R1. 7. 31 完成 事業費 27,432,000 円</p> <p>◎東部共同調理場空調設備設置工事 H31. 4. 5 着工～R1. 5. 10 完成 事業費 1,020,600 円</p> <p>◎船越小学校送油管外部切回し工事 R1. 10. 24 着工～R1. 11. 29 完成 事業費 927,300 円</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説明) 生徒の安全を配慮しながら、工期の中で順調に工事を進めることができ、また突発的な事案にも対応し、安全な学校生活を送るための施設整備を図ることができた。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組) 令和2年度は男鹿南中学校の屋上防水改修工事を継続し、財政状況を見極めながら、児童・生徒の安全安心な教育環境の整備を図る。</p>
教育委員評価	○ 児童生徒が安全で安心な学校生活を送るために工事の安全に配慮しながら引き続き環境整備をお願いしたい。
学識経験者意見	老朽化や以前から改修が必要だった施設・設備への計画的対応と同時に、緊急を要する箇所などにも積極的に対応していると見受けられる。今後は学校統合の進捗状況も注視し、安心・安全な教育環境の整備に努めてほしい。

I 【教育環境の整備】

(3) 小学校 I C T環境整備事業

方針・目標	児童の情報活用能力の育成やプログラミング教育の必修化に対応し、教職員の業務負担の軽減を図るため I C T整備を推進し、活用することにより教育の質の向上を図る。
目標値	令和元年度は小学校 6 校の学習系及び校務系の一体的な I C Tの導入・整備を行う。
事務事業の実績	<p>◎小学校 I C T機器等リース事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約期間 R1. 9. 1～R6. 8. 31 ・ 事業費 令和元年度リース料 11,575,116 円 令和 2 年度～令和 6 年度債務負担額 87,640,164 円 ・ 整備内訳 学習系システム 児童用タブレット、電子黒板の配備、無線 L A N環境の整備 校務系システム 教職員用パソコンの更新、校務支援システムの導入、センターサーバーの導入
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説 明) 市内小学校で統一のシステム整備を図り、地域差なく、児童が I C Tに触れ、活用する機会を得て、今後社会活動で求められる能力育成のための環境整備を図ることができた。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組) 令和 2 年度は中学校の I C T環境整備を図り、児童・生徒の学習効果向上のための教育環境の整備を図る。</p>
教育委員評価	小学校の I C T環境の整備により、児童が I C Tに触れ、活用する機会を創出することにより、今後社会活動で求められる情報活用能力を育成し、プログラミング教育の必修化に対応できるとともに、I C Tの活用による教育の質の向上にも期待したい。
学識経験者意見	社会の急激な変化の中で、主体的で深い学びのために情報活用能力の育成を図る I C T環境整備は急がれる事業である。一方で、教職員の業務の効率化や事務作業の軽減などの業務改善につながる視点でも事業を遂行していただきたい。

I 【教育環境の整備】

(4) 小中学校の在り方を考える協議会

方針・目標	社会情勢の変化に対応し、学校の学習効果を向上させるため、市内小・中学校の将来のあるべき姿について研究協議するため、協議会を組織し、意見を取りまとめる。
目標値	学識経験者、PTA関係者、各地区代表、一般市民等の中から20名以内の委員を委嘱し、4回の協議会を開催し、意見書としてまとめる。
事務事業の実績	協議会委員 20名委嘱（任期R1.6.27～R2.3.31） 協議会開催 4回 起草委員会開催 1回 意見書の提出 R2.1月 事業費 458,567円
点検評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>（説明） 各委員から積極的にご意見をいただき、予定の会議開催及び起草委員会の開催により、意見書を提出していただいた。 また、意見書の市報折り込み、市ホームページ掲載により、市民への周知を図るとともに、市民から意見をいただき、小中学校の在り方を広く考える取り組みをすることができた</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p> <p>（具体的な課題及び取組） 令和2年度以降は、協議会でまとめた意見書（提言）を基に、児童生徒にとってのより良い教育環境、小中学校の在り方を考え、小中学校再編整備計画（仮称）を策定し、保護者、地域住民の理解を得ていく必要がある。</p>
教育委員評価	協議会を設置し、学校統合の方向性について段階的に検討を重ね、意見書をまとめることができた。今後は、現在の学校環境や地域の課題などを保護者や地域住民と共有し、理解を図りながら計画的に進めていけたら良い。
学識経験者意見	協議会委員に様々な立場の方が委嘱されていたことで、広い見識から意見聴取ができたのではないかと思う。意見書は、男鹿市の小中学校の将来の在り方を考えるスタートになるものである。これをもとに教育委員会が男鹿市教育の未来や学校の在り方を計画して推進することに期待する。

II 【地域間交流の機会充実と国際交流の推進】

(1) 男鹿市・春日井市児童交流学習事業

方針・目標	<p>昭和62年から始まった本事業は、平成30年度で32回（男鹿市児童の春日井訪問は29回）を数える。両市の代表児童が、3泊4日の日程で相互に訪問し、交流校における学習会、ホームステイ、市長表敬訪問、文化・歴史施設等において宿泊体験学習を実施する。</p>
目標値	<p>①体験活動や交流会に楽しく参加して友情を深めるとともに、思いやりの心を積極的に態度で表すことができるようにする。 ②多くの友人や人との交流に際し、進んであいさつするとともに、相手や場に応じた言葉づかいや行動ができるようにする。 ③交流先の文化遺産、自然等にふれ、改めてふるさとについて考えを深めることができるようにする。</p>
事務事業の実績	<p>令和元年度は春日井市訪問団（春日市児童37名、引率6名）令和元年8月4日～7日に来市した。市長表敬訪問、北陽小児童との交流会、本市児童宅でのホームステイを実施し、両市の児童が体験活動を通して交流を深めた。その他、五里合中石梨畑、男鹿市ジオパーク学習センター、なまはげ館・なまはげ伝承館などを見学し、秋田・男鹿の自然と文化を体験する活動が展開された。</p> <p>男鹿市訪問団（男鹿市児童21名、引率4名）が令和元年10月18日～21日に春日井市を訪問した。春日井市立丸田小及び藤山台小においての交流学習、市長表敬訪問、児童宅でのホームステイ、春日井まつり、名古屋城やトヨタ産業技術記念館などの歴史施設・産業施設見学を実施した。訪問交流校では、本市代表児童による秋田・男鹿の文化・歴史・自然等についての発表や、伝統行事「なまはげ」の実演など、訪問の目的に沿った活動が展開された。</p> <p>事業費決算 1,524,374円</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説明)</p> <p>訪問児童は、見学先において、代表的な産業や歴史について学ぶとともに、ホームステイや交流校における人々とのふれあいを通して、人と人とのつながりやふるさと秋田・男鹿について見つめ直す機会となった。訪問後に、交流学習の記録を男鹿市交流学習感想文集「春日井の思い出」にまとめた。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組)</p> <p>本市の児童数の減少により、ホームステイ受け入れ家庭の確保が困難となっている。</p>
教育委員評価	<p>令和元年度の交流事業は目標通り実施できたと思います。本交流事業は県外の同年代の児童と交流することのできる貴重な事業だと思います。男鹿市でのホームステイ受け入れが困難となっており、継続が難しいとは思いますが、他の市と協力して受け入れ先を探すとか工夫をして、なんとか続けて欲しいと思います。</p>
学識経験者意見	<p>本事業を通して長きにわたる両市の交流は根付いており意義深いものである。しかし、新型コロナウイルス感染症による生活スタイルの変化など大きな課題がいくつもあり、事業の存続・休止を含めた根本的な見直しを、あえてする時期ではないだろうか。</p>

Ⅲ【生涯学習の推進】

(1) 明日を創る新成人の集い（男鹿市成人式）

方針・目標	成人としての自覚と責任感を高揚し、明日の男鹿を担う世代の限らない発展を願い、新成人としての門出を祝福するために開催する。
目標値	新成人より構成される実行委員とともに、新成人を激励し、明日への活力を生み出せるような成人式を実施する。
事務事業の実績	日 時：令和 2 年 1 月 12 日（日）13：00～ 会 場：男鹿市民文化会館 大ホール 参加数：160 人（新成人） 決 算：551,184 円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (説 明) ・式典では、「男鹿市民歌斉唱」、「市民憲章唱和」、「新成人代表挨拶」を行い、新成人の集いでは最後に「新成人誓いの言葉」を行うことによって、成人としての自覚を促し、厳かな雰囲気の中で、新成人を激励することができた。 ・8 名の実行委員とともにクイズ形式のアトラクション部分を作成。前年度よりも少し元気な新成人達に圧倒されたが、実行委員以外の新成人からの参加も得て、一体感のある成人式を行うことができた。
点検による事業の課題	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 (具体的な課題及び取組) 令和 4 年度からの成人年齢引き下げにともなう成人式対象者について検討する必要がある。
教育委員評価	地域ごとの新成人で構成される実行委員が企画する成人式は、落ち着いた中にも温かい式典であった。成人年齢の引き下げにともなう成人対象者については、慎重に検討を進めたい。アンケート結果を踏まえながら、これから新成人としての振る舞いを考えるのにより式典行事であると思う。今後一層の充実を期待して、皆でお祝いしていきたい。
学識経験者意見	実行委員会の自主的な運営をもとに、特色ある意義深い式の実施が行われている。社会情勢の変化や成年年齢の引下げに伴い、主催者として成人式の時期や在り方等についての情報発信もできる限りお願いしたい。

